

各章のもとになった論文

第1章

1.1 :

山本博樹 1993a 「問題」の発見を支援する現場研究の視点の導入 発達心理学研究, 4, 70-71.

山本博樹 1996a 画面デザインの分類法に関する基礎的考察—事例としての紙芝居— 日本人間工学会システム連合大会雑誌人とシステム, 2, 30-37.

山本博樹 1998 画面の構成は理解を支援する—カット技法の認知特性—
海保博之・山本博樹・青山征彦・野島久雄・川浦康至・無藤隆・高橋登 拡大するリテラシー 日本教育心理学会フォーラムレポート, FR-98-002, 20-26.

1.5 :

山本博樹 1993b 子どものテレビ物語の理解におけるカット技法の役割 児童文学研究, 25, 23-41.

山本博樹 1996b 映像表現の心理効果とその評価—カット技法の実態と役割の概観— 大阪学院大学流通・経営科学論集, 22, 75-85.

第2章

2.2 :

山本博樹 1992a テレビ番組におけるカット技法の実態—幼児による番組理解に関する研究のための実態調査— 日本心理学会第56回大会発表論文集, 240.

山本博樹 1993c テレビアニメにおけるカット技法の実態 発達心理学研究, 4, 138-146. 調査1

2.3 :

山本博樹 1993c テレビアニメにおけるカット技法の実態 発達心理学研究, 4, 138-146. 調査3

2.4 :

山本博樹 1993c テレビアニメにおけるカット技法の実態 発達心理学研究, 4, 138-146. 調査2

山本博樹 1993d テレビアニメにおけるカット技法の実態 (2) 日本発達心理学会第4回大会発表論文集, 310.

2.5 :

山本博樹 1997 テレビアニメにおけるカット技法の種類と視聴率との関係 日本心理学会第61回発表論文集研, 568.

2.6 :

山本博樹 未発表

第3章

3.2 :

山本博樹 1993e 場面転換と幼児の物語理解—どのような認知過程が関係するのか—
日本教育心理学会第35回総会発表論文集, 289.

3.3 :

山本博樹 1994a 場面転換と幼児の物語理解—どのような認知過程が関係するのか—
(その2) 日本教育心理学会第36回総会発表論文集, 139.

第4章

4.2 :

山本博樹 1990a 映像事象の系列的編集—編集過程の分析と編集単位の同定—
ディスコースプロセス研究, 2, 67-76. 実験1

山本博樹 1990b 絵事象の能動的処理—絵カード配列過程の分析— 日本心理学会
第54回発表論文集研, 590.

4.3 :

山本博樹 1989 幼児における時間的系列化の発達の変容 1988年度修士論文(筑波
大学)

山本博樹 1991a 映像事象の系列的編集—幼児の編集過程における誤答パターンの分
類と分析— 読書科学, 35, 72-79.

4.4 :

山本博樹 1992b 主人公の目標構造の提示が幼児による絵画配列に及ぼす効果—縦時
的理解に及ぼす教示の効果の明確化— 読書科学, 36, 41-51.

4.5 :

山本博樹 1990c 映像事象の能動的処理—事象の熟知度と場面の重要度の効果—
日本教育心理学会第32回大会発表論文集, 78.

4.6 :

山本博樹 1994b 物語の理解過程—どのように読み手は時間因果的一貫性を構成する
のか— 読書科学, 38, 67-82.

第5章

5.2 :

山本博樹 1991b CMと番組の共存関係に関する認知心理学的検討—絵画配列課題を用
いた実証的研究— 吉田秀雄記念事業財団研究報告集, 197-206.

5.3 :

山本博樹 未発表